



## 全国高等学校総合文化祭 (和歌山大会) 出場報告

## SSH生徒研究発表会



8月20日(金)、結果が発表されました。理数科サイエンス部のカブトムシ班は、ポスター発表賞と生徒投票賞のダブル受賞という結果でした。



7月31日(土)、和歌山県の近畿大学を会場に、全国高等学校総合文化祭(全国総文祭)自然科学部門が開催されました。コロナの影響で開催が危ぶまれていましたが、何とか現地開催が実現しました。間隔を開けて座ったり、正面にガードを設置したりしてコロナ対策がとられていました。物理班はポスター会場でブースの設営。ポスターを張り、机にスズミシの翅やマラカス、実験装置等を並べていきます。他校の発表を十分聞くことができなかつたり制約はありましたが、出場した生徒たちにとっては、とても貴重な経験になったと思います。

8月4日(水)、SSH生徒研究発表会(SSHの全国大会)が兵庫県神戸市の神戸国際展示場で行われました。国分高校からは理数科3年のカブトムシ班が参加しました。8月5日(木)発表会2日目。参考文献やラボノート、プログラミングを提示するPCを置いて発表ブースの設営完了。雑種個体(ハイブリッド)を見分ける「カブトムシ識別アプリ」も大活躍。1年次からずっと行ってきた研究の集大成です。審査員の先生方がいつ来るか分からないので気を抜けません。発表時間も決まっていないので型にはまった発表が通用せず、本当のプレゼン力が問われます。各自の得意な部分を生かして本当に頑張ってきました。

## サイエンスインターハイ2021 リモート開催

7月25日(日)、サイエンスインターハイ2021がZOOMによるリモートで開催されました。出場したのは理数科2年の化学系の2班と生物(カビゴケ)班、理数科1年の生物(ヤマビル)班の計4班。午前中は化学系の2班が発表しました。「海中の全リン測定器の開発」について、「二酸化炭素測定器の開発」について発表しました。

午後は生物系の2班が発表。理数科2年のカビゴケ班。あまり知られていない「カビゴケ」の分布や生育条件、生活史等について発表しました。理数科1年のヤマビル班。ヤマビルの集合性、忌避性について発表しました。





## 鹿児島大学理学部との連携協定（オンライン講義）

7月24日(土)に、鹿児島大学理学部のオンライン講義がありました。事前に申し込んだ生徒は、自宅で受講するか、学校で受講するか選択したのですが、そのうち学校での様子をお知らせいたします。午前は数学と生物の講義を、それぞれ2人、5人で受講しました。数学ではトランプを使った興味深い内容を、大学レベルの講義としての講座でした。生徒らはメモを取りながら一生懸命聞いています。生物では遺伝学について、同様に大学レベルの話題を受講しました。SSHの本校として、大学レベルの講義を受けることは、大変意味あることで、興味関心を深める講義内容でした。



## 舞鶴フィールド研修（理数科2年）（理数科1年）



7月21日(水)夏季補習1日目、理数科1年生は舞鶴フィールド研修に出かけました。講師は鹿児島大学名誉教授の大木先生と、霧島市ジオパーク推進員の石川先生。まずは「岩戸」の火砕流堆積物の観察。道路脇の崖には、国分平野が大きな湖だったところの地層が見えています。これは「岩戸火砕流」が作った溶結凝灰岩の崖。下に祠が作られています。岩戸火砕流はごく限られた場所で見られえない不思議な火砕流堆積物なのだそうです。



7月26日(月)、理数科2年生を対象にした舞鶴フィールド研修2が行われました。

物理班は鹿児島大学の小山先生に学校に来ていただき、磁石について学習を深め、磁力の測定等に行いました。化学班は鹿児島大学の神長先生に来ていただき、二酸化炭素やヤリンの測定器の開発についてご助言をいただきました。生物班は宮崎県にある服部植物研究所の片桐所長と連携し、Zoomでカビゴケ研究の方向性等についてご指導いただきました。地学班は鹿児島大学の中谷先生に来ていただき、桜島の噴煙の研究に関する様々なことを教えていただきました。